



長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部

長崎県対馬市厳原町東里120番地

地域と連携した「国境の島・対馬」の保全活動



Action

私たちは、対馬市役所等と連携して希少野生動植物種である「ツシマウラボシシジミ」という対馬固有亜種のチョウの保護に取り組んでいる。今年度は幼虫の食草である「ケヤブハギ」「ヌスビトハギ」「フジカンゾウ」を学校敷地内で種から栽培し、生長した計100株を新しく設置された対馬市峰町にある国有林の保護区へ植栽した。シンポジウムにも参加し、オンラインで全国から100名を超す方々に活動の成果を発表することができた。また、対馬にのみ自生していた「黄金オニユリ」の栽培に挑戦した。リモートで長崎県立諫早農業高校と交流しアドバイスをもとに栽培した結果、数株の花を咲かせることができた。さらに、活動を行う中で環境美化も保全活動の重要な要素であると考え、地元企業とともに海岸清掃を実施した。1時間でペットボトル900本以上を回収し、分別した結果、その多くが海外由来のものであったため、日本だけの問題ではないことが分かった。